

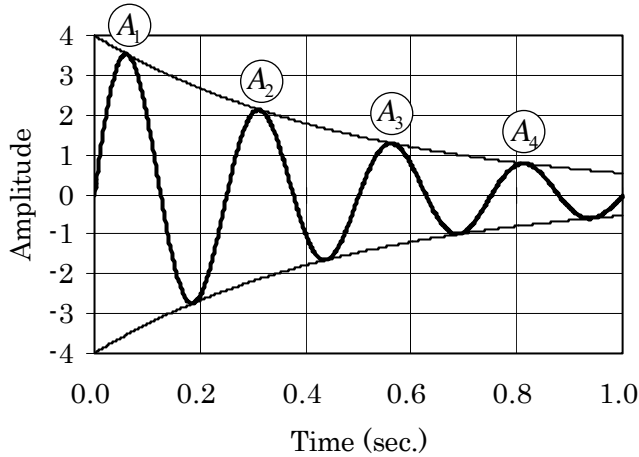
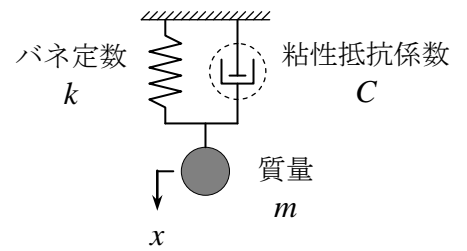
『応用土木振動学』小テスト

学籍番号	氏名	評点

【問題】

右図に示すような "Kelvin Model" として表される系の減衰自由振動を観測したところ、下図(左)のような振動の時系列データが得られた。このとき、振動の時系列データから得られる固有周期 T 、固有周波数 f 、固有円振動数 ω はいくらか？

また、振動の "山" の位置 $A_1 \sim A_4$ の振幅を調べたところ、下表(右)のようなデータが得られた。このとき、この減衰自由振動の減衰定数 h はいくらか？



位置	振幅
A_1	3.516760
A_2	2.123094
A_3	1.284308
A_4	0.775346

【解答】

【解答】

1 秒間に 4 波長が観測されるので、固有周波数 $f = 4 \text{ (Hz)}$ である。

従って、固有円振動数 $\omega = 2\pi f = 8\pi \cong 25.1327 \text{ (radian/s)}$ ，固有周期 $T = \frac{1}{f} = \frac{1}{4} = 0.25 \text{ (秒)}$ である。

“Kelvin Model” として表される系の減衰自由振動は、次のように表される。

$$x = \exp(-\omega_0 h t) \cdot C \cos(\omega_1 t + \delta) \quad \text{ここに、} \omega_0^2 = \frac{k}{m}, \quad \omega_1 = \omega_0 \sqrt{1-h^2} \text{ である。}$$

このとき、 $t = t_n$ のとき、振動波形の n 番目の “山” があると考えると、

$$\omega_1 t_n + \delta = 2n\pi \text{ すなわち、} t_n = \frac{2n\pi - \delta}{\omega_1} \text{ であるから、その振幅は次のようになる。}$$

$$x_n = \exp(-\omega_0 h t_n) \cdot C \cos(\omega_1 t_n + \delta) = C \cdot \exp\left(-\omega_0 h \frac{2n\pi - \delta}{\omega_1}\right)$$

同様に、 $t = t_{n+1}$ のとき、振動波形の $n+1$ 番目の “山” があると考えると、その振幅は次のようになる。

$$x_{n+1} = C \cdot \exp\left(-\omega_0 h \frac{2(n+1)\pi - \delta}{\omega_1}\right)$$

そこで、振幅の比をとると、次のようになる。

$$\begin{aligned} \frac{x_n}{x_{n+1}} &= \frac{C \cdot \exp\left(-\omega_0 h \frac{2n\pi - \delta}{\omega_1}\right)}{C \cdot \exp\left(-\omega_0 h \frac{2(n+1)\pi - \delta}{\omega_1}\right)} = \exp\left\{-\omega_0 h \frac{2n\pi - \delta}{\omega_1} + \omega_0 h \frac{2(n+1)\pi - \delta}{\omega_1}\right\} \\ &= \exp\left(\omega_0 h \frac{2\pi}{\omega_1}\right) = \exp\left(2\pi h \frac{\omega_0}{\omega_1}\right) \end{aligned}$$

ここで、 $\omega_1 = \omega_0 \sqrt{1-h^2}$ であるから、 $\frac{\omega_0}{\omega_1} = \frac{1}{\sqrt{1-h^2}}$ の関係を用いると、次のようになる。

$$\frac{x_n}{x_{n+1}} = \exp\left(2\pi h \frac{\omega_0}{\omega_1}\right) = \exp\left(2\pi \frac{h}{\sqrt{1-h^2}}\right)$$

両辺の自然対数を取り、 $h \ll 1$ と考えると、次のようになる。

$$\log_e \left(\frac{x_n}{x_{n+1}} \right) = \frac{2\pi h}{\sqrt{1-h^2}} \cong 2\pi h \quad \therefore h = \frac{1}{2\pi} \log_e \left(\frac{x_n}{x_{n+1}} \right)$$

これを、振動の “山” の位置 $A_1 \sim A_4$ の振幅の表に当てはめて計算すると、

$$\frac{A_1}{A_2} : h = \frac{1}{2\pi} \log_e \left(\frac{3.516760}{2.123094} \right) \cong 0.08032$$

$$\frac{A_2}{A_3} : h = \frac{1}{2\pi} \log_e \left(\frac{2.123094}{1.284308} \right) \cong 0.08000 \quad \therefore \boxed{h \cong 0.08}$$

$$\frac{A_3}{A_4} : h = \frac{1}{2\pi} \log_e \left(\frac{1.284308}{0.775346} \right) \cong 0.08032$$